

第1学年 生活科 わたしのあさがお

本時の目標	あさがおの栽培方法を通して、手順を考え実行することができる。
本時で育成する 情報活用能力	あさがおを鉢に植える手順を細分化して考えることにより、手順の大切さに気付く。

☆推奨時間 2時間 グループワーク推奨・あさがおの学習のはじめに実施

準備物

あさがおを植える手順のカード、台紙、あさがおを植えるための道具（たね、土、植木鉢など）

学習活動	指導上の留意点
○導入 1 時間目 1. あさがおをきれいに咲かせるという目標を確認する。	・手順通りあさがおを植え、「あさがおをきれいに咲かせる」目的が達成できることを確認する。
○展開1 1 時間目 1. あさがおを植えるために、必要なことを考える。 <u>例</u> ・準備するもの 鉢、土、たね、シャベル、水 ・やること 土を入れる、穴をほる、たねを入れる、水を撒く ・わからないこと たねは何？ どれくらい土を入れる？ 水はいつあげる？	1. あさがおを植える手順のカードを事前に作成しておく。 <u>カードの例</u> ・必要な道具の絵（鉢、土、はさみ、たねなど）。 ・土づくりの絵（土づくりから始める場合）。 ・鉢に土を入れる絵（具体的な土の量を指示したほうがよい）。 ・さいころの5の目の位置に、指で穴をあける絵（具体的な深さの指示があったほうがよい）。 ・たねを穴に入れる絵。 ・穴が隠れるように土をかぶせる絵。 ・水を撒く絵。

学習活動	指導上の留意点
2. 配られたカードをグループで話し合いながら正しいと思う手順に並べる。 3. 並べ終わったらグループごとに発表する。 4. 鉛筆での書き込みとカードが貼れるサイズの台紙を準備する。 台紙にカードを貼り、作業の注意点をカードの下に台紙に書きながらあさがおを植えるための「計画」を立てる。	2. グループ内で意見が違っていたときは「なぜその並びになると思うのか」の理由を具体的に話しあい、正しいと思う手順に直す。 正解手順 ①鉢に土を入れる。 ②指でさいころの目の5のかたちで5つ穴をあける。 ③穴に一つずつたねを入れる。 ④土をやさしくかける。 ⑤水をあげる。 ※間違えてしまったことは失敗ではなく、正しいゴールに向かうための大切な材料であることを事前に強調する。 3. 手順を間違えたグループがあった場合、クラス全体に「気づき」を与えたことをしっかり褒める。 4. カードの手順ではうまくいかない可能性もあるため、想定される事象を教師誘導しながら注釈を書き込む（作業の細分化）。 もし、教科時間に余裕がある場合、教師は誘導せず自由に記入させてもよい。
<u>例</u> 土を入れる ・・・どれくらい？ 穴をあける 5つ ・・・ふかさは？ 種を2つずつ入れる ・・・むきは？ 土をかける ・・・どれくらい？ 水をあげる ・・・どれくらい？	<u>注釈の例</u> ・必要な道具を用意する絵について 「他にどんな道具が必要だろう？」 ※たねや土のふくろを切るハサミなど ・鉢に土を入れる絵について 「ちょうどいい量を入れるにはどうしたらいいだろう？」 ※鉢植えにペンで線を描いておいた方がいいなど ・指でさいころの5の目の位置に穴をあ

学習活動	指導上の留意点
	ける絵について 「ちょうどいい深さの穴をあけるには どうしたらいいだろう？」 ※指の関節のどこまでか明確にするなど ・穴にたねを入れる絵について 「たねは何個入れたらきれいに咲くだろう？」 ※具体的な量を確認 ・穴が隠れるように再度土をかぶせる絵について 「どのように土をかぶせたらいいだろう？」 ※やさしくふとんをかぶせるようになるなど ・水を撒く絵。 「どのくらい水をかけたらいいいだろう？」 ※具体的な量の確認
○展開2 2時間目	
1. 「計画」を見ながら、あさがおのたねを植える。	1. あさがおを植える作業をする。 実際に作業をしていると計画にはなかった「気づき」があるので、気が付いたことは覚えておくように声かけする。
○まとめ	
1. 計画通りに作業が進められたかを確認する。うまくできなかったり、つまずいたりした点があったときは、どうしたらうまくいくか、グループ内で意見を出し合い、台紙に記入する。	
○発展	
1. 本時の目的にあさがおをきれいに咲か	

学習活動	指導上の留意点
せることとある。そのため、発展としてあさがおを植えた後の花が咲くまでの順番を伝え、花が咲くことへの楽しみにつながる。 例：芽が出る→育つ→支柱を立てる→花が咲く→たねができる 2. 計画を立て、手順通りに作業を行い、問題があればグループで話し合い改善する。同じ作業を繰り返すプロセスは、掃除の手順や体育の準備体操、歯磨きの順番、手洗いの順番など、他の場面や科目に対応できる。	